

Y23日本グランプリ

帆走指示書

1 規則

1.1 本レガッタは以下の規則を適用する。

* セーリング競技規則 (RRS) 2021-2024)

* 海上衝突予防法

1.2 帆走指示書の変更は、海上で口頭で行う。

2 レース

2.1 スタートラインは本部艇のオレンジフラッグと筒形マークの間とし、本部艇を右に見て行う。

2.2 スタートの手順

5分前 Y23旗掲揚 短音1声 (第1レース予告信号) 小浜事務局 23日: 9:55

4分前 P旗掲揚 短音1声 24日: 9:25

1分前 P旗降下 長音1声

スタート Y23旗降下 短音1声 *PはIの場合あり

*2レース以降は、R旗の降下 (反復音響) 後1分で予告信号 (Y23旗) を掲揚する

2.3 コース

4レグのコースとする。レースは引き続き複数回行う。最終艇フィニッシュ後

R旗が掲揚されている場合、速やかに次のレースを行うのでスターライン付近に待機のこと。

23日は13:35、24日は13:05以降のスタートは行わない。

3 フィニッシュ

フィニッシュは本部艇のブルーフラッグとマークの間とし、コースサイドより通過する。(短縮の場合も同様)

次のレースを行う場合は、トップ艇位フィニッシュ以降R旗を掲揚する

1レース以上の成立で本レガッタは成立する。

4 抗議と救済要求

抗議に関しては、新型コロナの状況で対応が異なるので当日指示する。ただし大会本部はB旗を準備しない。

5 艇の使用法に関する制限等

6.1 艇に固定されたコンパスを除く電子計器のスイッチは、レース中は切らなければならない。

6.2 ハリヤード等はテーピングするなりして各艇の責任で対応すること。ボースンチェア・予備スピンの貸出は行方。

6.3 テルテル、毛糸等の追加。工具や予備部品の積み込みは許可する。

6.4 リギンの調整は許可する。

7 ケースおよびその他のインシデントで艇または乗員に被害があった場合は弁済を含め当事者間で解決する。

8 タイムリミットはスタート後50分またはトップ艇フィニッシュ10分のいずれか早いほうとする。

トップ艇フィニッシュ時に短音1声を発する。

タイムリミット時間でフィニッシュラインを解除する。これ以降レース艇は速やかにスタートラインに復帰する。

9 コースを短縮する場合は、音響2声とともにS旗を掲揚する。

10 成績はRRS低得点方式とする。5レース以上のレース成立で一つを除外する。2日間の合計で対応する。

11 登録乗員の範囲内で乗員の変更を認める。ただし、乗員数の変更は原則として認めない。

12 帰着報告書と貸出セールの返還 (2日目のみ) をもって帰着申告とする。

13 安全規定

13.1 すべての乗員は、出港から帰港までライフジャケットを着用する。

13.2 レース中救助が必要な艇を確認した場合は速やかに救助活動を行うものとする。

13.3 強風や濃霧等の天候の場合、レースは実施しないことがある。

14 RRS 55 を順守し、会場はもとより陸上においてもゴミは参加者で処理する。

15 各レースにおいて本帆走指示書を使用する。変更がある場合はレース前に公示する。

16 本共通帆走指示書は適宜変更することがある。変更点は23日以降に公式掲示板に示す。

17 上位艇を表彰する。



S (短縮)



C (コース変更)



I (ラウンドアンエンド)



P (4分前)

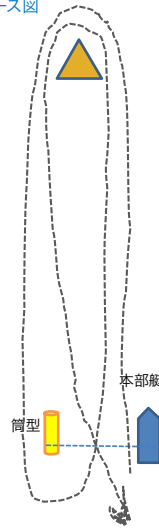


X (リコールあり)



第1代表
ゼネラルリコール

コース図



レース海面: 小浜港沖



L (ついでこい)



Y23 (クラス旗)



R旗
降下時、反復音響信号



AP旗 (回答旗)
スタートは延期された



AP/A 本日のレースは中止

*12:40以前に中止する場合